

緩やかな持ち直しの動きがみられる

(前回:緩やかな持ち直しの動きがみられる)

生産は横ばい傾向。輸出は2か月連続の増加。
個人消費は回復傾向にある。雇用は改善している。■ 1月生産:横ばい傾向
(12月:横ばい傾向)

- 鉱工業生産指数 103.8
前月比 ▲3.9% (2か月ぶり)
前年同月比 ▲0.5% (2か月ぶり)
- 全13業種中、上昇は6業種
電気・情報通信機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業、プラスチック製品工業等
- 低下は7業種
汎用・生産用・業務用機械工業、化学・石油石炭製品工業、電子部品・デバイス工業 等

(出所:九州経済産業局)

■ 1月輸出:増加(2か月連続)
(12月:増加)

- 輸出額 7,181億円
前年同月比 +4.7% (2か月連続)
- 主要品目
自動車 1,882億円 +12.0% (7か月ぶり)
電子部品 1,140億円 ▲7.3% (2か月ぶり)
鉄鋼のフラットロール製品
587億円 +3.3% (2か月ぶり)
- 国別
中国 1,280億円 ▲5.0% (7か月連続)
韓国 926億円 +5.4% (10か月連続)
米国 843億円 ▲6.7% (5か月連続)

(出所:財務省)

■ 1月個人消費:回復傾向にある
(12月:回復傾向にある)

- 百貨店(全店) 417億円+3.6% (3か月連続)
- スーパー(全店) 1,065億円+2.9% (37か月連続)
- コンビニ 1,052億円 +2.7% (9か月連続)
- 家電大型専門店 303億円 +4.3% (2か月連続)
- ドラッグストア 666億円 +5.6% (32か月連続)
- ホームセンター 247億円 +0.5% (2か月連続)
- 新車登録台数 37,189台 +14.2% (3か月ぶり)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 1月雇用:改善している
(12月:改善している)

- 有効求人倍率 1.20倍
前月比0.00ポイント(横ばい)
- 新規求人倍率 2.19倍
前月比+0.13ポイント(2か月ぶり)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売業・小売業、建設業、製造業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:悪化

- 12月の業況DI (%ポイント)
全産業 +18 変化幅▲2
製造業 +8 変化幅▲1
非製造業 +23 変化幅▲2
- 先行き(3月)
全産業 +15 変化幅▲3
製造業 +6 変化幅▲2
非製造業 +20 変化幅▲3

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 設備投資:増加

- 23年度
全産業 +28.9%
製造業 +28.1%
非製造業 +30.3%
- 24年度(計画)
全産業 +2.8%
製造業 +8.0%
非製造業 ▲7.0%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 1月住宅建設:減少(2か月連続)

- 新設着工戸数 5,905戸
前年同月比 ▲9.2%
(2か月連続)
- 持家 1,474戸
▲13.2% (2か月連続)
- 貸家 2,580戸
▲8.1% (2か月連続)
- 分譲 1,802戸
▲2.6% (3か月連続)

(出所:国土交通省)

■ 1月公共投資:減少(5か月ぶり)

- 工事請負金額 830億円
前年同月比 ▲5.3% (5か月ぶり)
- 発注者別前年同月比
国 +46.8%
独立行政法人等 ▲67.7%
県 ▲21.7%
市町村 ▲13.5%

(出所:西日本建設業保証㈱)

■ 1月倒産:増加(2か月ぶり)

- 倒産件数 60件
前年同月比 +15.4%
- 負債総額 52.7億円
▲19.9% (2か月連続)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 1件 (▲87.5%)
卸・小売業 22件 (+214.3%)
建設業 10件 (+100.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。